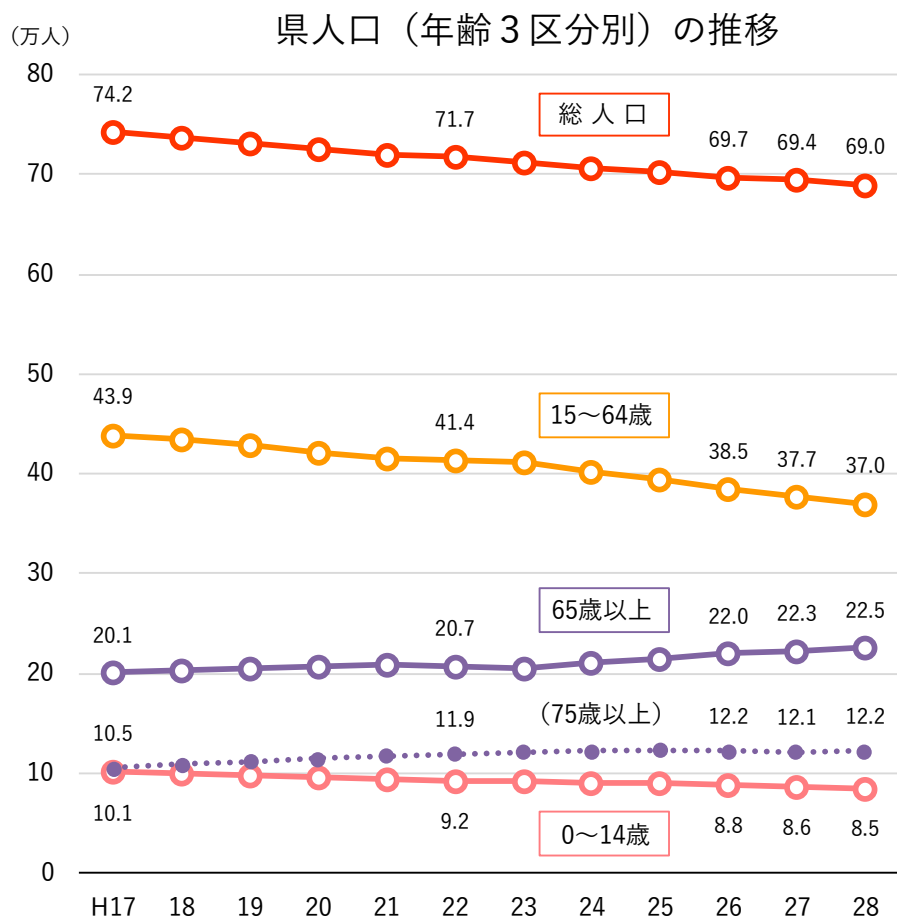


平成29年9月29日  
地方創生・行財政改革  
調査特別委員会資料  
政策企画監室

資料1-2

# 島根県の概況

- 県人口は、平均して年間約5千人の減少が継続
- 少子・高齢化が進行し、生産活動の中核をなす15～64歳の人口も減少傾向



年齢3区分別人口

(単位：人、%)

	H26年	H27年	H28年	対前年
	総人口	697,015	694,352	689,817
0～14歳	88,224 (12.7)	86,056 (12.6)	85,211 (12.5)	▲ 845
15～64歳	385,038 (55.5)	376,877 (55.0)	370,441 (54.4)	▲ 6,436
65歳以上	220,125 (31.7)	222,648 (32.5)	225,394 (33.1)	+ 2,746
(75歳以上)	122,208 (17.6)	121,398 (17.7)	122,046 (17.9)	+ 648

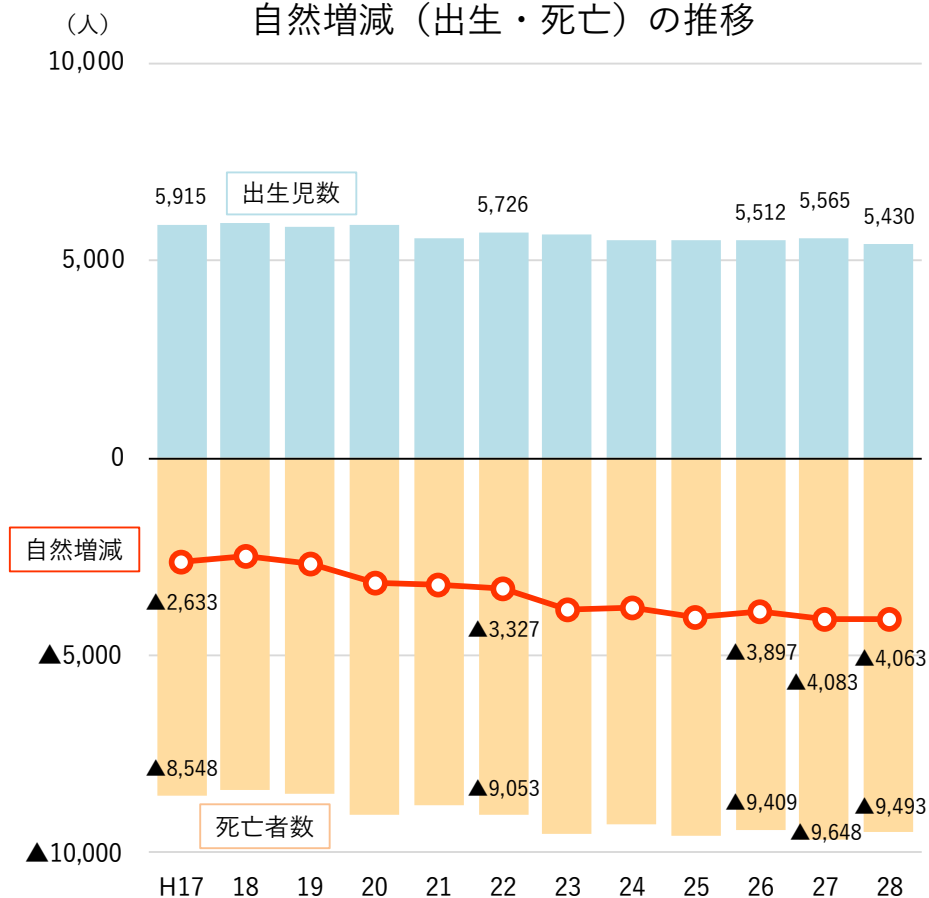
下段 ( ) 内は、構成割合

資料：「島根県の人口移動と推計人口（島根県統計調査課）」（H17・22・27年は、国勢調査人口）〔各年10月1日現在〕

(注) 総人口には、年齢不詳を含む。

- 近年、出生が約5千人、死亡が約9千人で、年間約4千人の自然減で推移
- 子どもを生む年代の女性も減少する傾向

自然増減（出生・死亡）の推移



自然動態

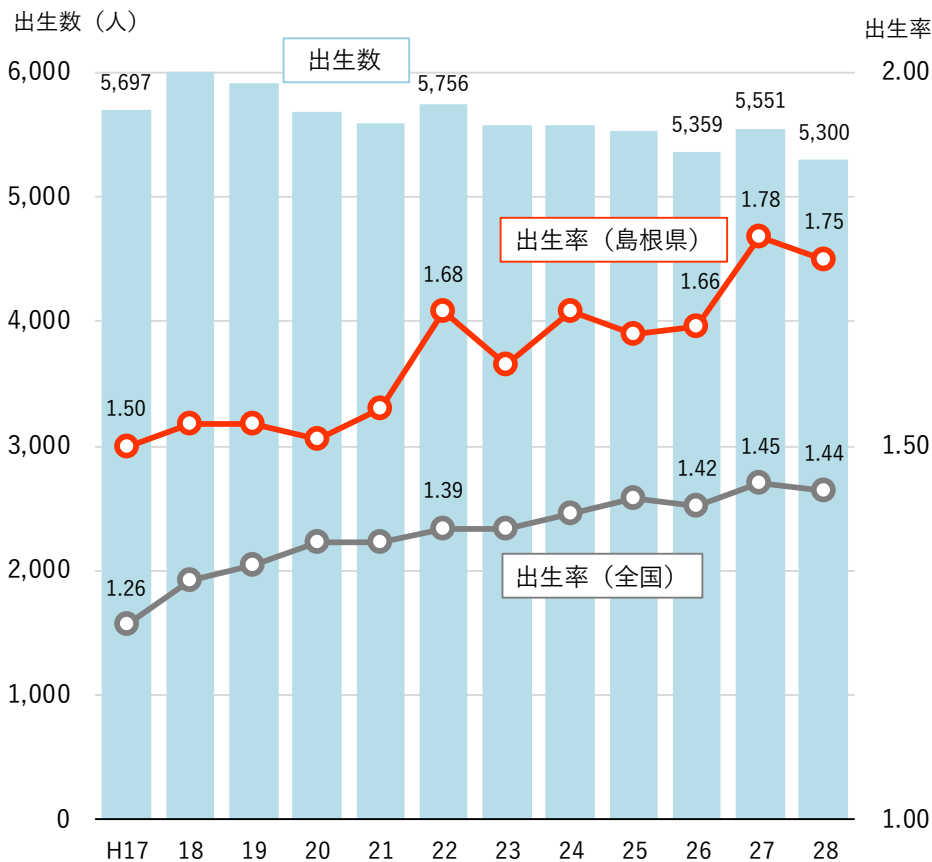
(単位：人)

	H26年	H27年	H28年	対前年
出生児数	5,512	5,565	5,430	▲135
死亡者数	9,409	9,648	9,493	▲155
自然増減	▲3,897	▲4,083	▲4,063	+ 20
女性人口 (15～49歳)	119,319	117,567	116,927	▲640

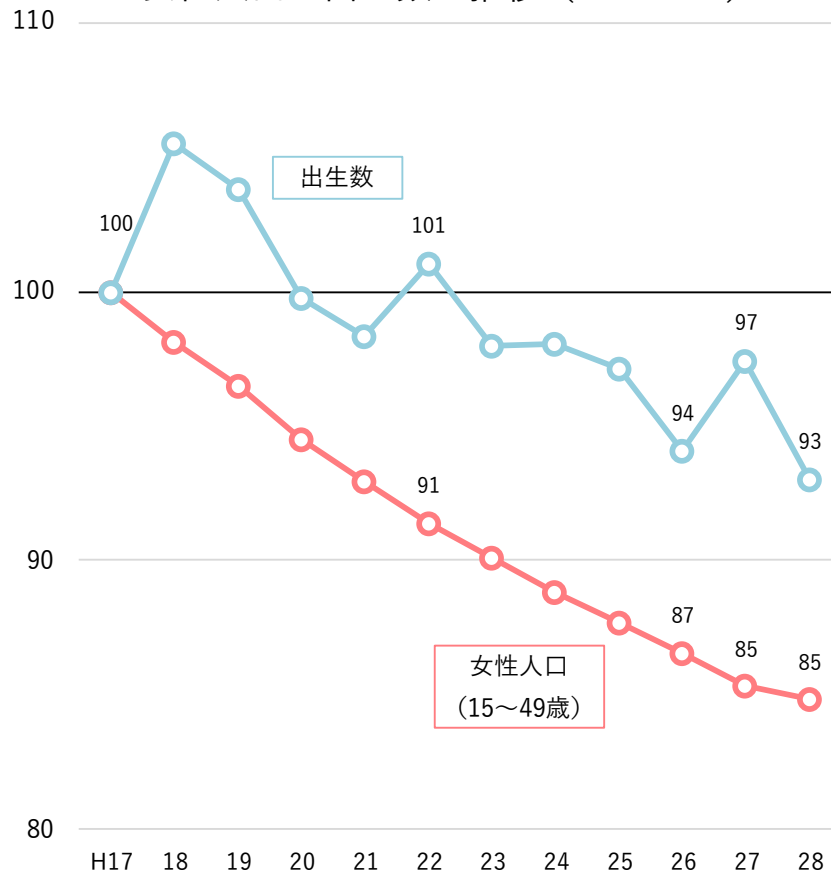
上欄（出生児数等）は、前年10月1日～9月30日  
下欄（女性人口）は、10月1日現在

- 島根県の合計特殊出生率1.75は全国2位で、高い水準を維持
- 女性人口が減少する中で、一定の出生数を確保

出生数・合計特殊出生率の推移



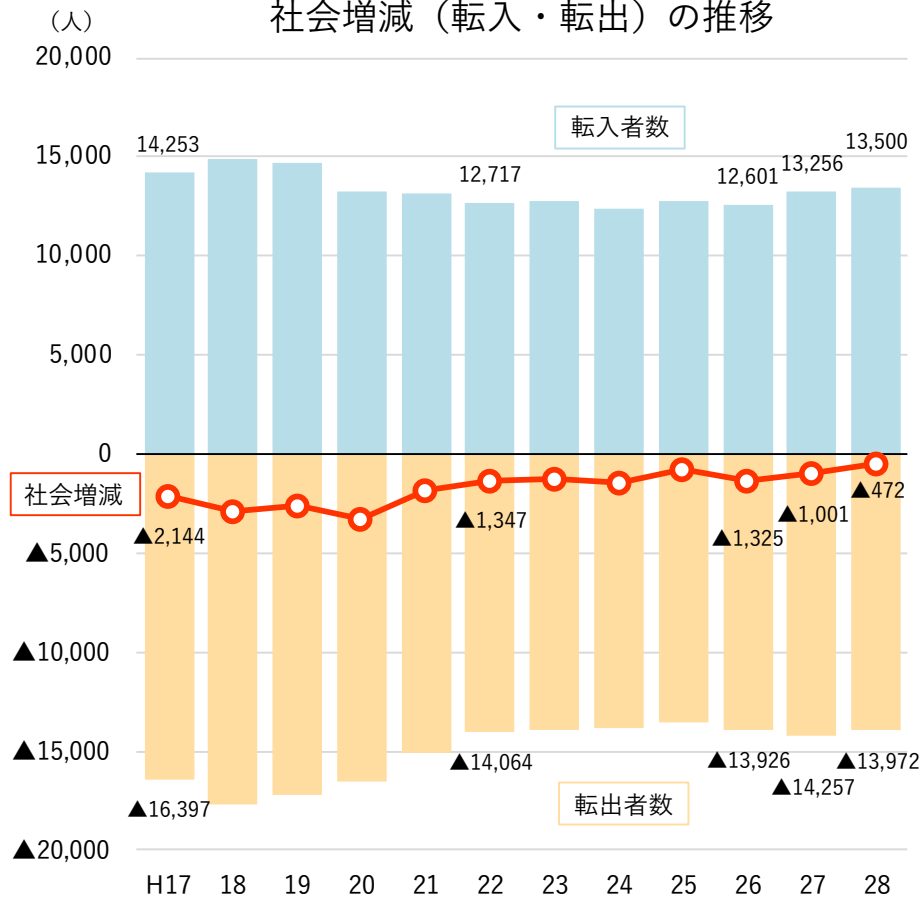
女性人口・出生数の推移 (H17=100)



資料：出生数・合計特殊出生率＝人口動態統計（厚生労働省）〔暦年〕  
 女性人口＝「島根県の人口移動と推計人口（島根県統計調査課）」（H17・22・27年は、国勢調査人口）〔各年10月1日現在〕

- 近年、転入より転出が約1千人多い社会減が続いていたが、H28年は約500人の減に改善
- 転出者の減少と、国外からの転入者の増が、改善の主な要因

社会増減（転入・転出）の推移



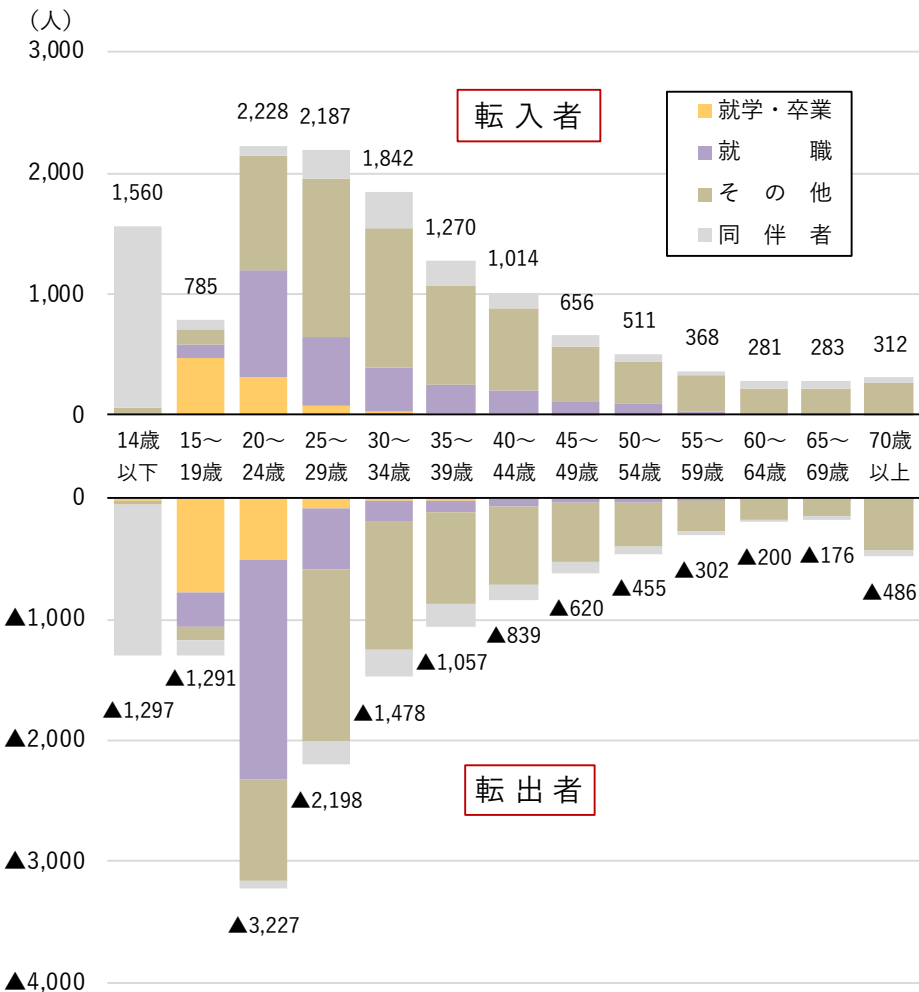
社会動態

(単位：人)

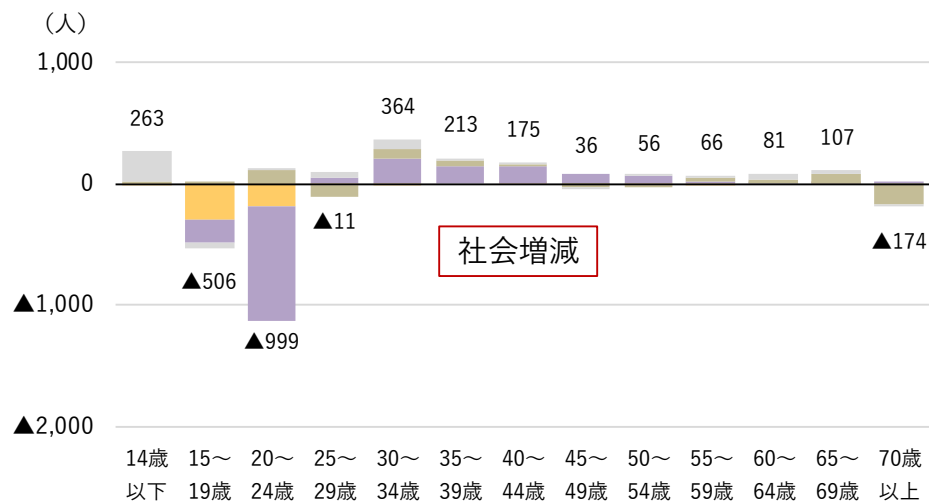
	H26年	H27年	H28年	対前年
	転入者数	12,601	13,256	13,500
（国外）	(1,425)	(1,824)	(2,004)	(+ 180)
転出者数	13,926	14,257	13,972	▲ 285
（国外）	( 874)	( 876)	( 982)	(+ 106)
社会増減	▲1,325	▲1,001	▲ 472	+ 529

資料：「島根県の人口移動と推計人口（島根県統計調査課）」

- 社会減は、15～24歳の若者の進学・就職による転出が主な要因



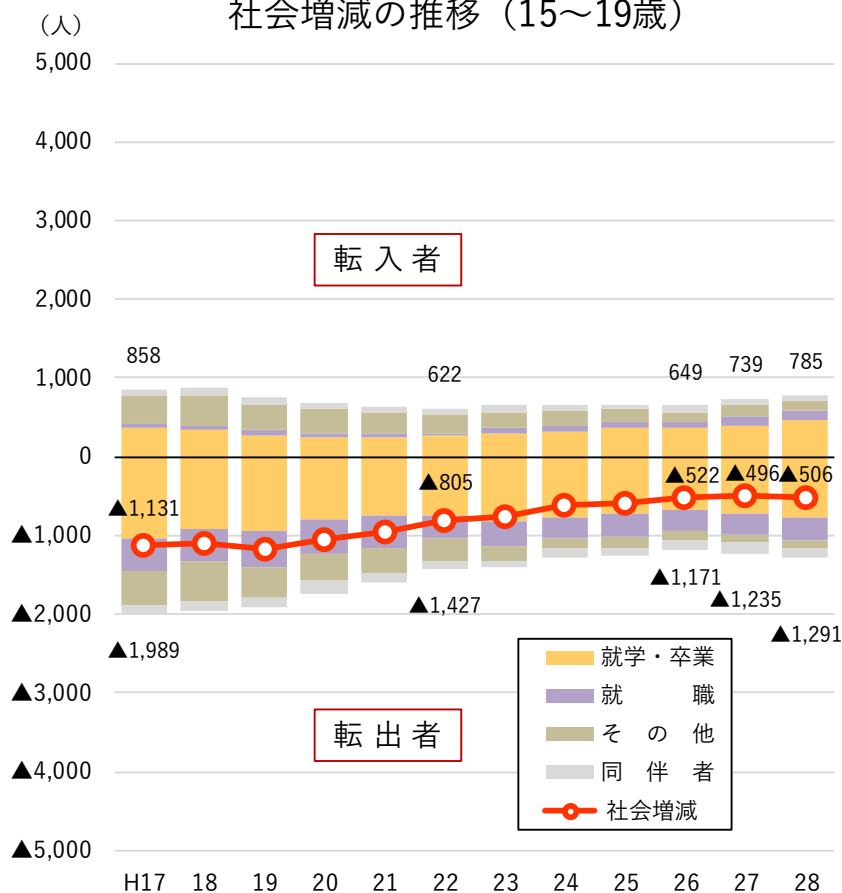
H28年の社会増減（年齢・理由別）



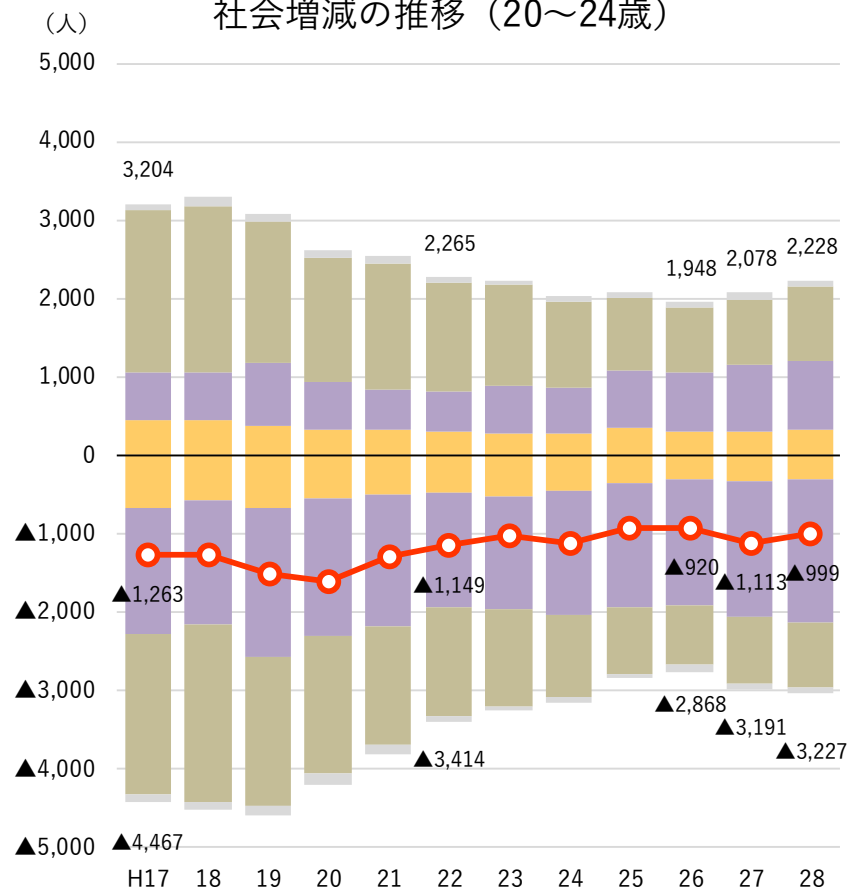
資料：「島根県の人口移動と推計人口（島根県統計調査課）」

- 15～19歳の社会減については、転入者は一定だが、転出者は減少傾向
- 20～24歳の社会減については、概ね1千人で推移

社会増減の推移（15～19歳）

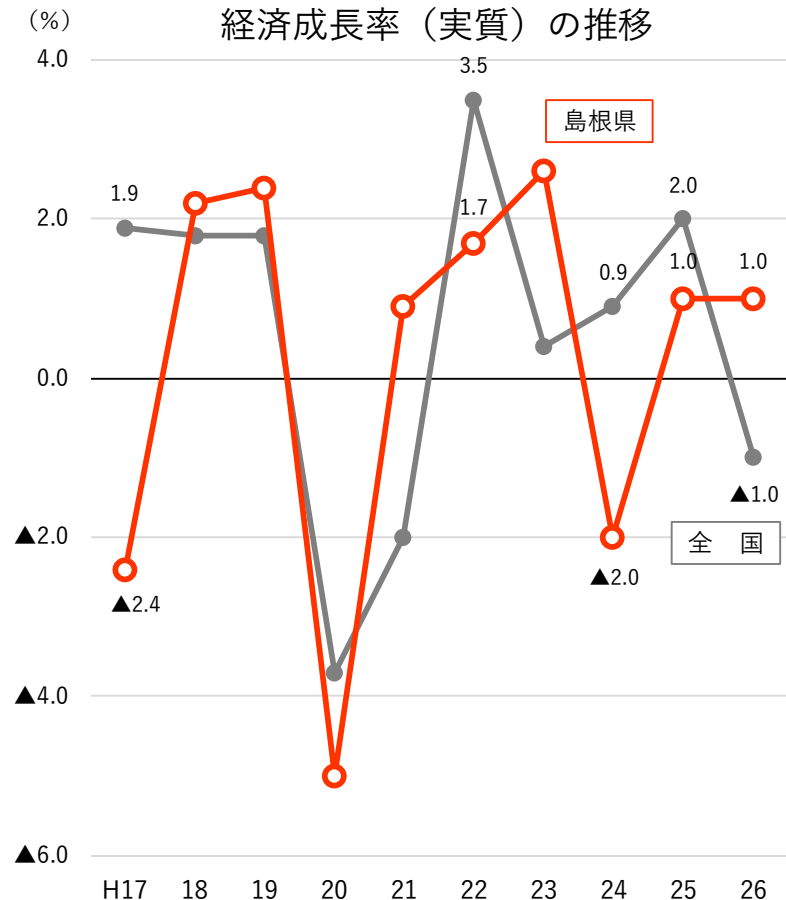
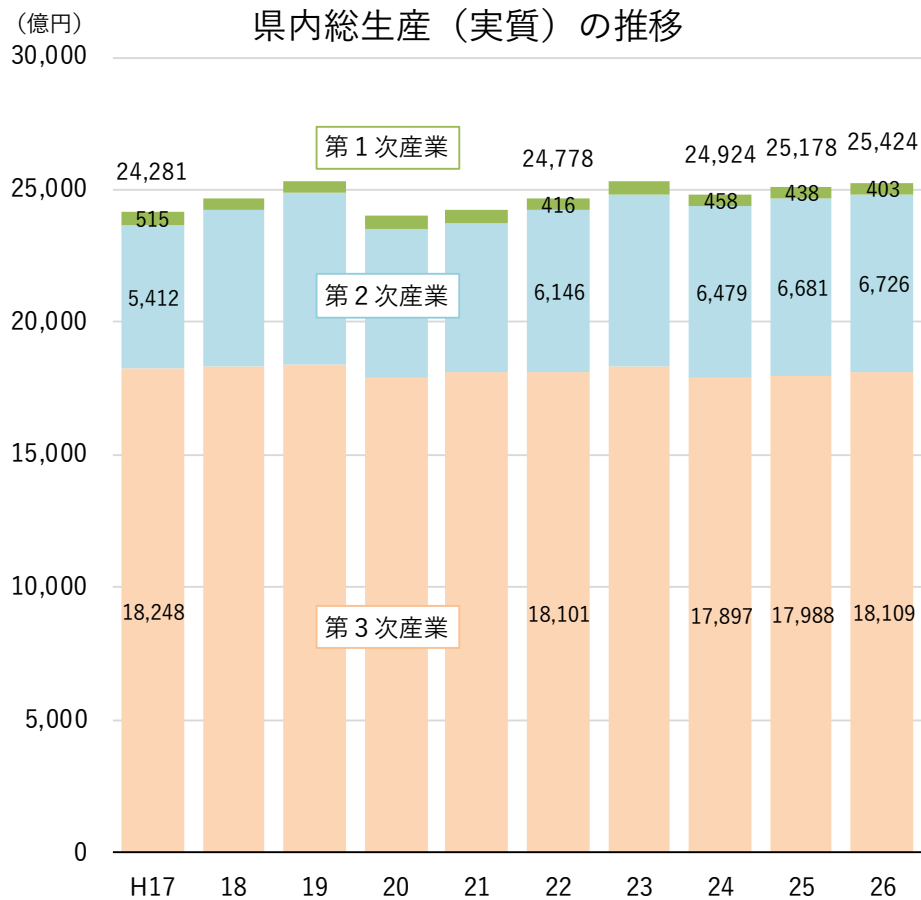


社会増減の推移（20～24歳）



資料：「島根県の人口移動と推計人口（島根県統計調査課）」

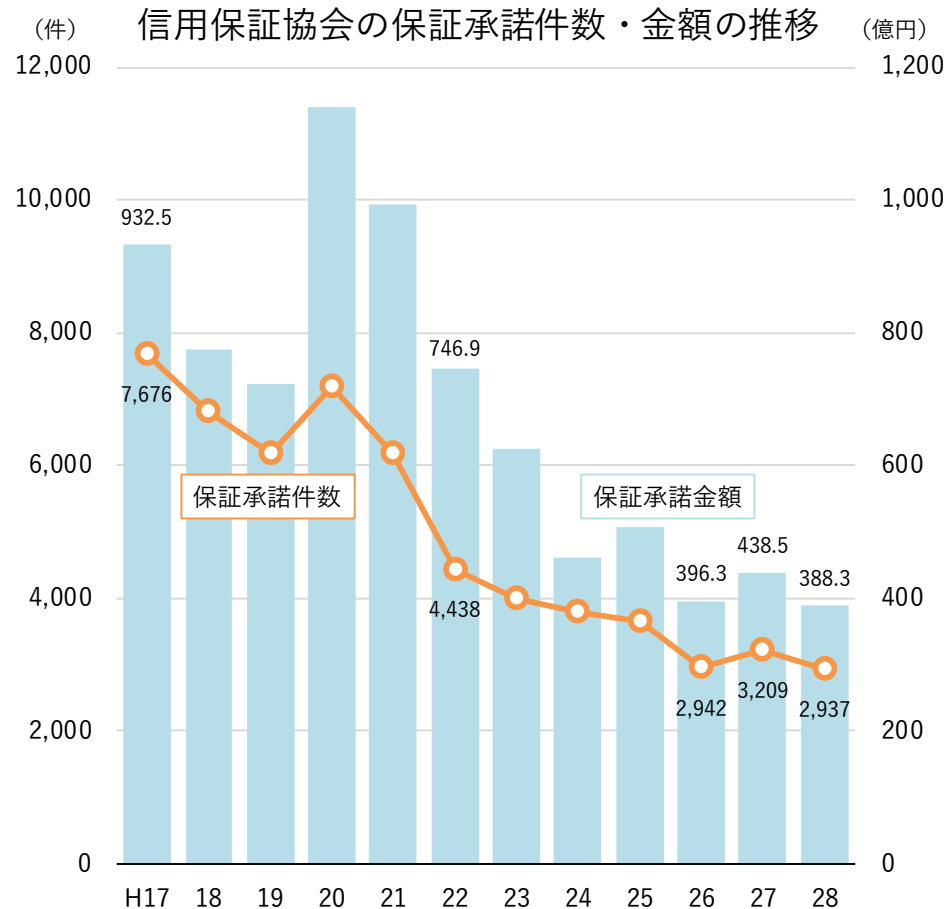
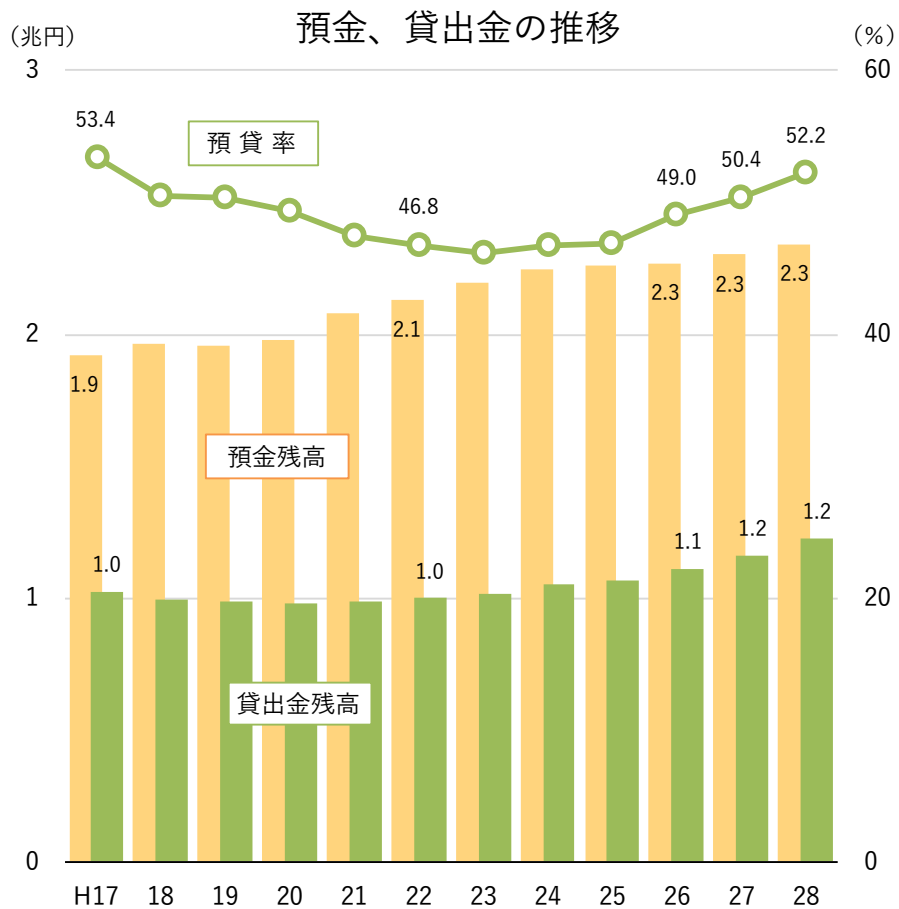
- 県内総生産は、リーマンショック以降、持ち直しの動きが持続



資料：「県民経済計算（島根県統計調査課）」〔年度〕

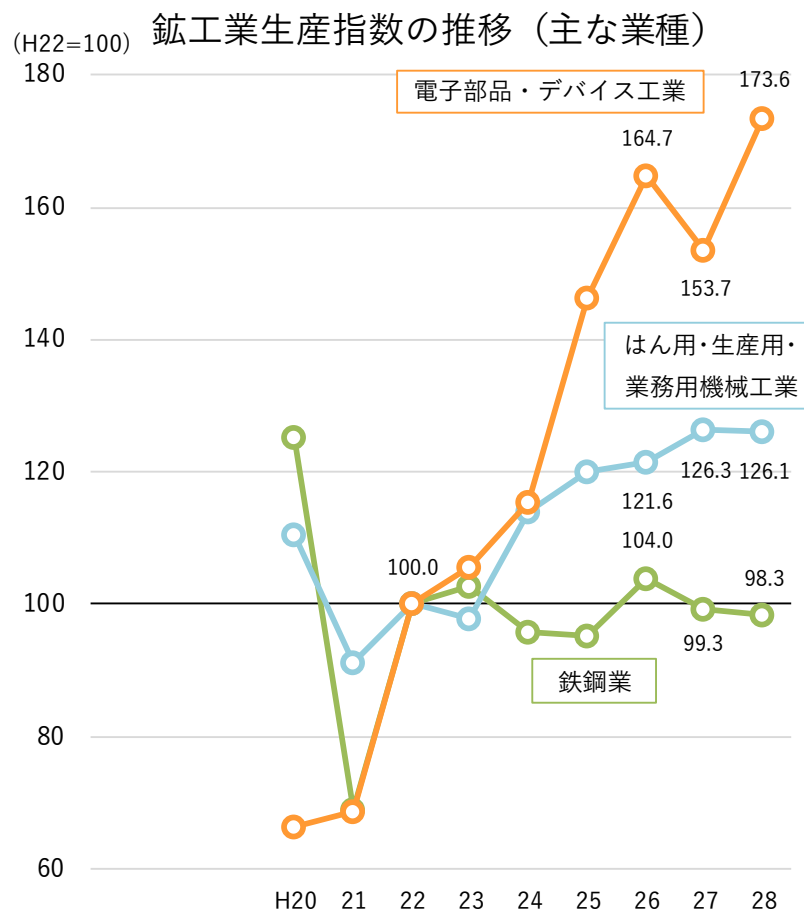
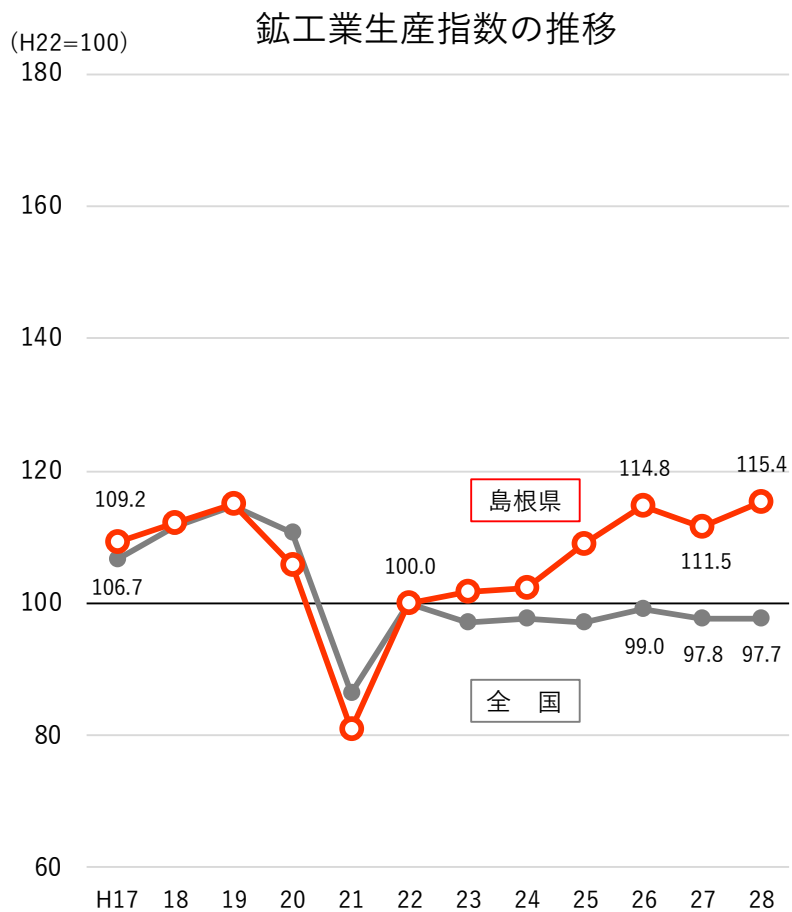


- 近年の低金利や金融機関の積極的な貸出姿勢を背景に、貸出残高が増加し、預貸率が上昇
- 保証に依存しない企業向け融資の浸透により、信用保証協会の新規保証件数・金額は安定した水準で推移



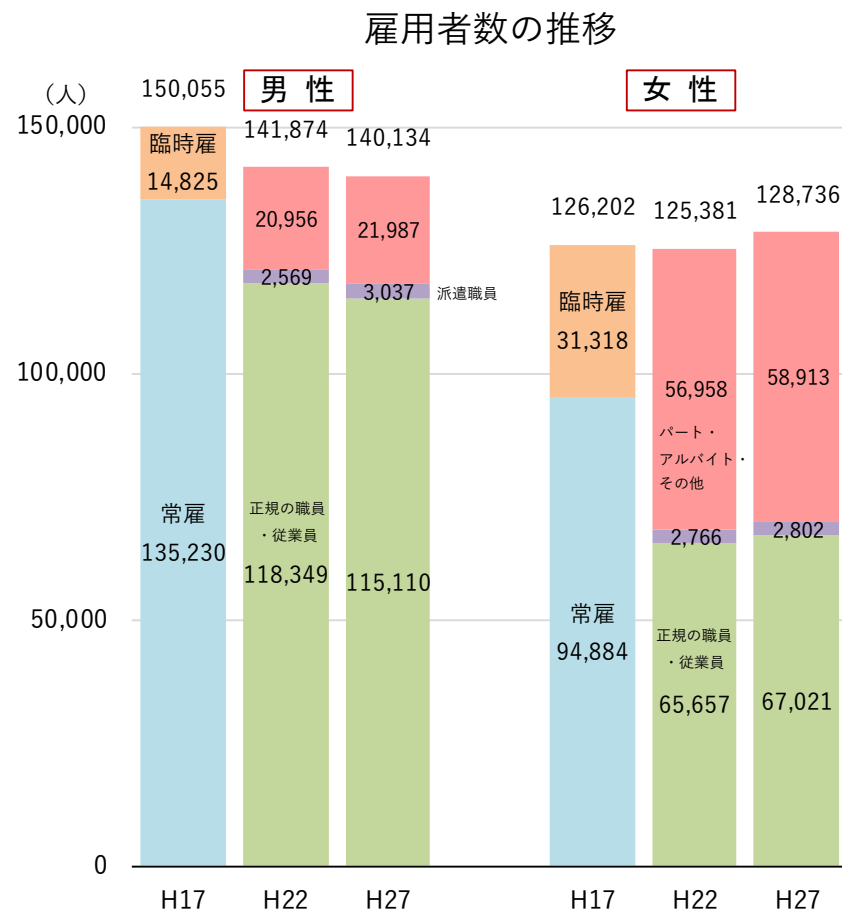
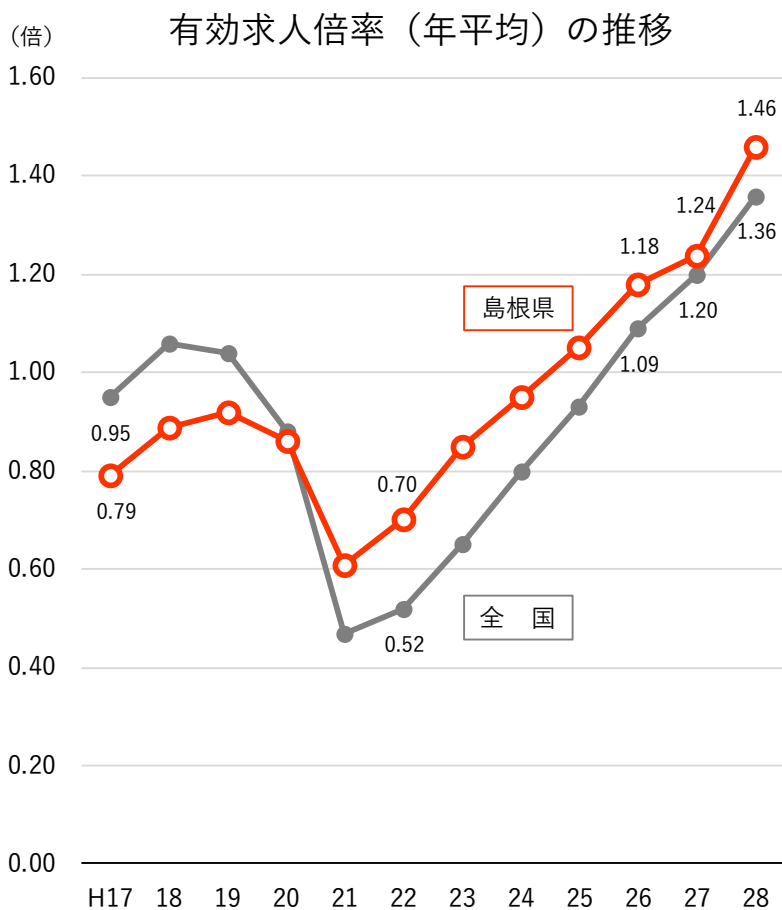
資料：預金・貸出関連統計（日本銀行）〔年度末残高〕、「島根県信用保証協会マンスリーレポート」〔年度〕  
 (注) 預貸率 = 貸出金残高 / 預金残高

- 鉱工業生産指数は、電子部品・デバイス工業の伸びが顕著であり、全国と比べ大きく向上



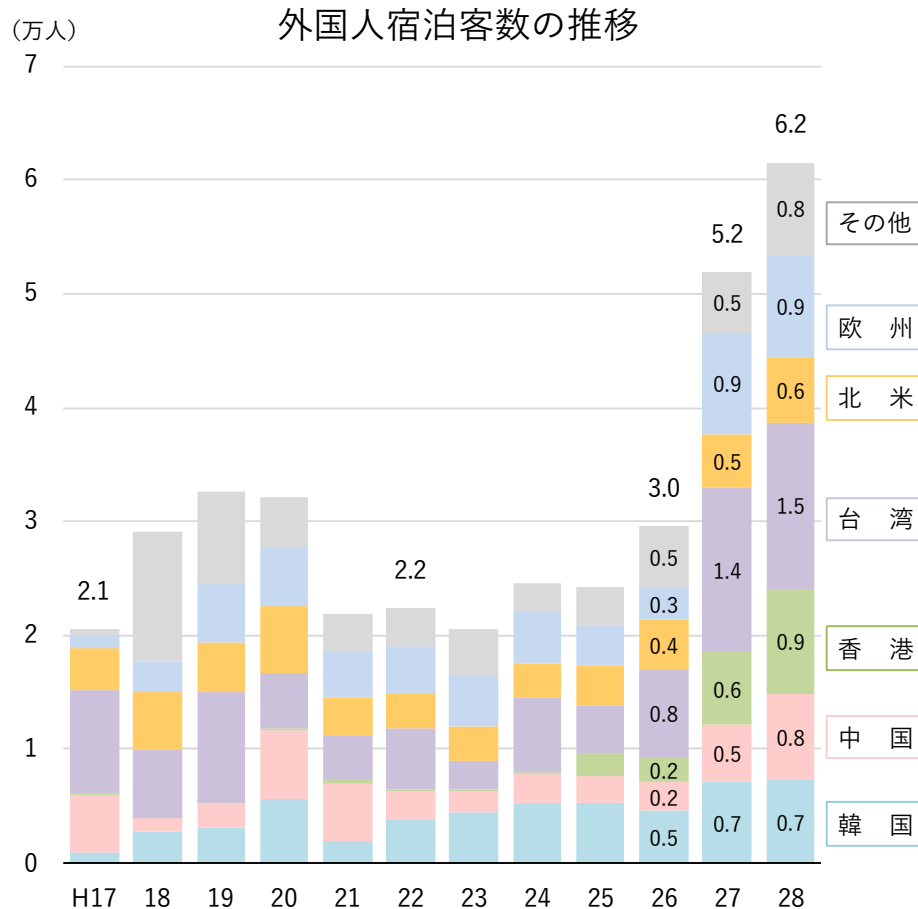
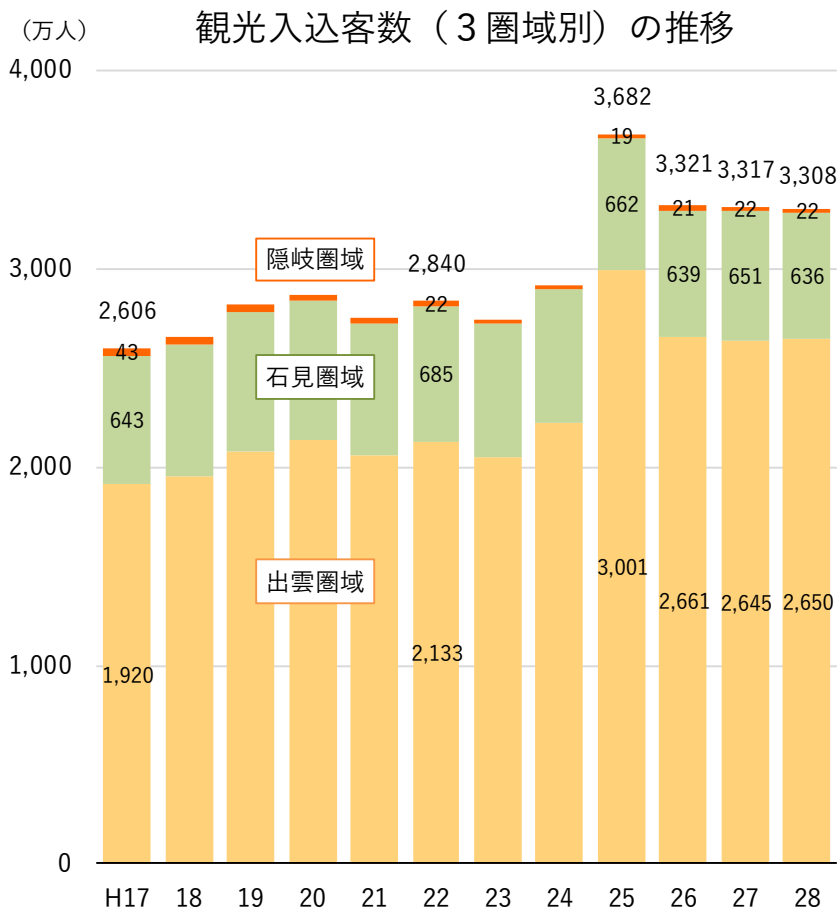
資料：鉱工業生産指数（経済産業省・島根県統計調査課）〔暦年〕

- 全国的に労働需給が逼迫し、島根県内でも有効求人倍率が上昇傾向
- 女性の雇用者数が増加



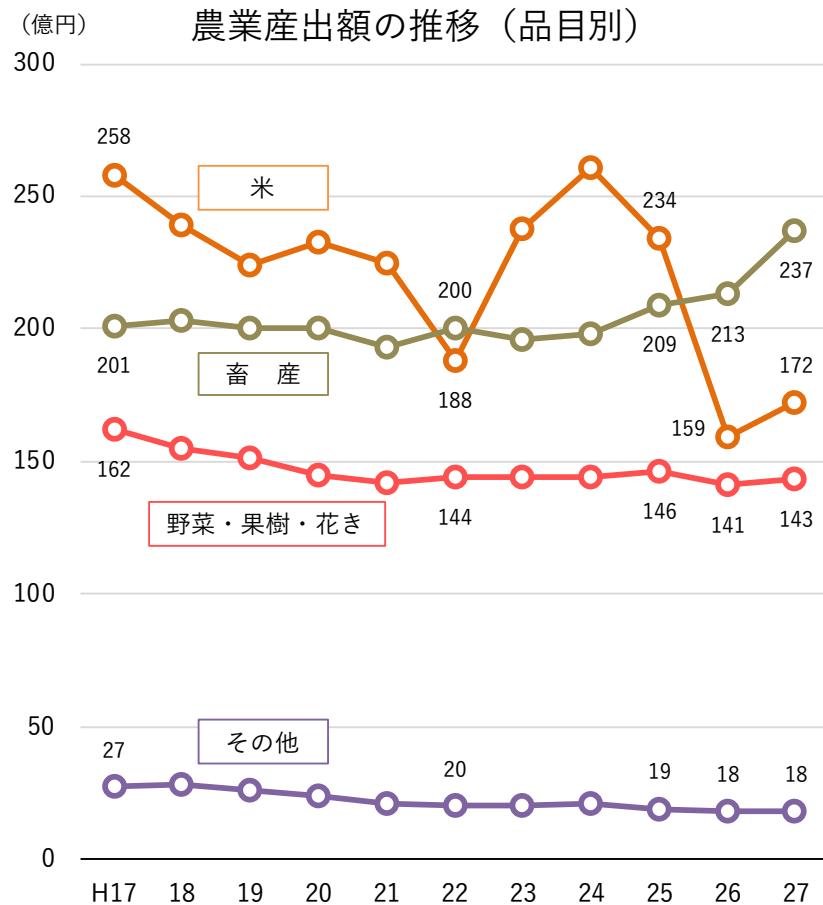
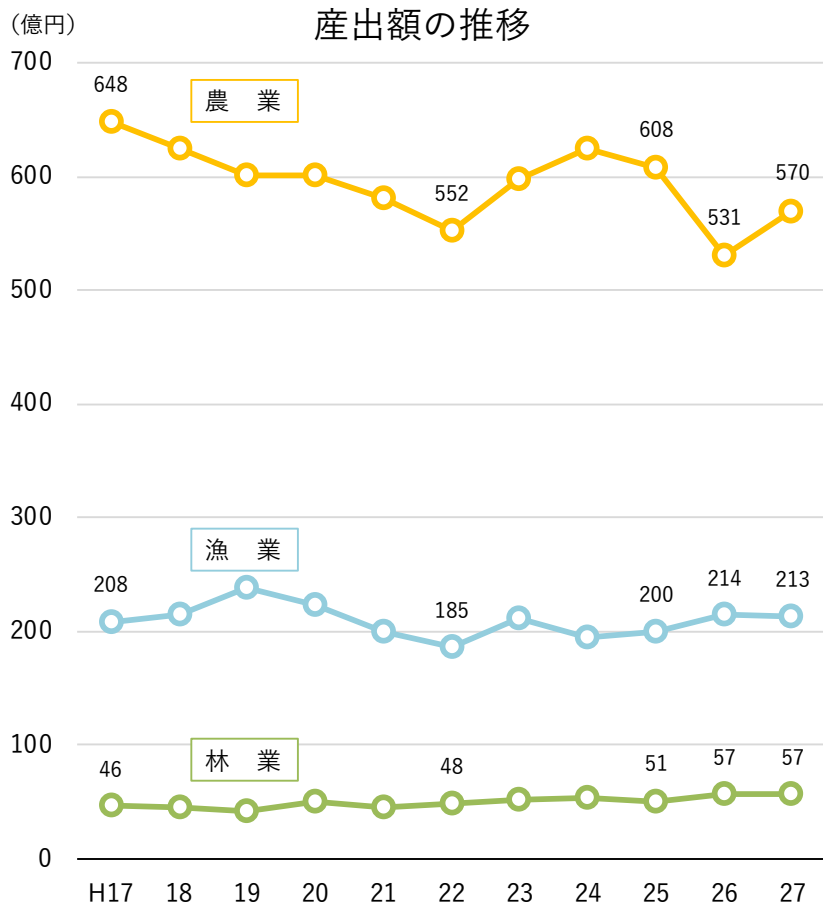
資料：有効求人倍率＝職業安定業務統計（一般職業紹介状況）（厚生労働省）〔暦年〕  
 雇用者数＝国勢調査（総務省統計局）〔各年10月1日現在〕

- 観光入込客数は、出雲大社遷宮・松江城国宝指定などもあり、出雲圏域で高い水準を維持
- 外国人宿泊客は、台湾・香港などを中心に、近年、大きく増加



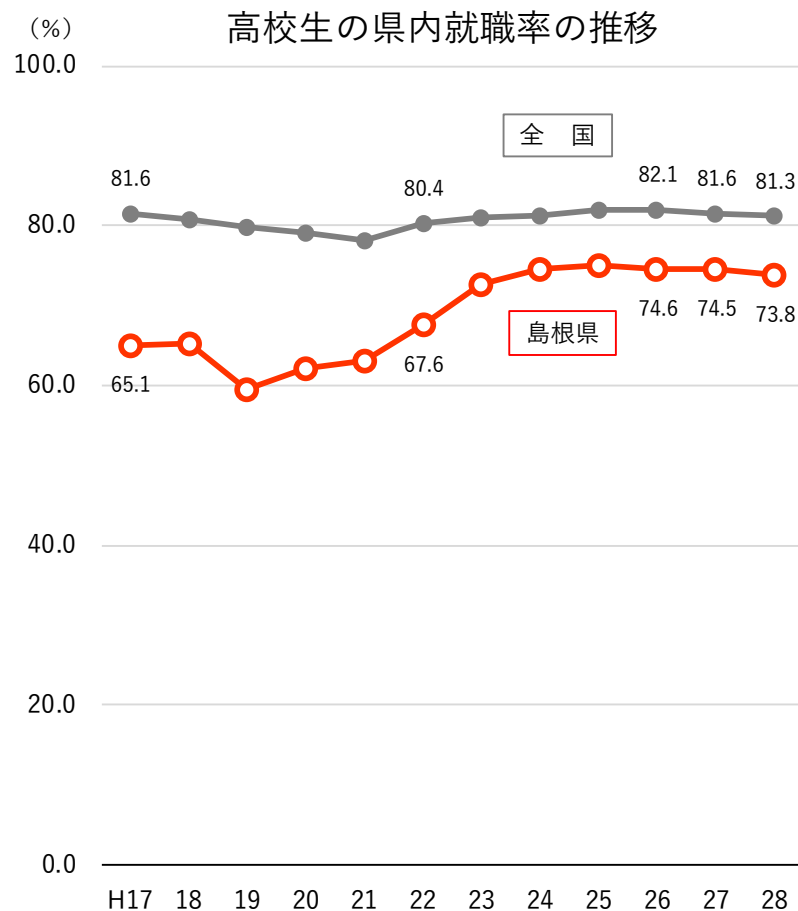
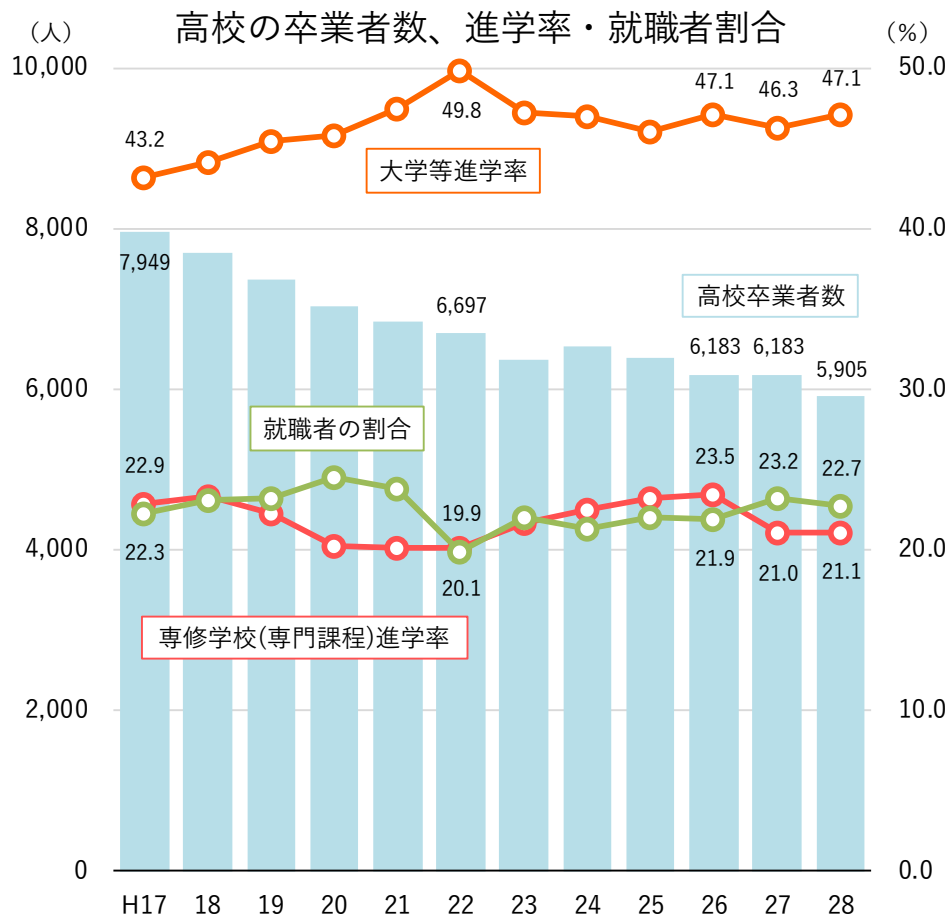
資料：島根県観光動態調査（島根県観光振興課）〔暦年〕

- 農業産出額は、米の産出額の変動を受けながら、約600億円で推移
- 漁業の産出額は約200億円、林業は約60億円で推移



資料：生産農業所得統計、林業産出額、漁業産出額（農林水産省）〔暦年〕

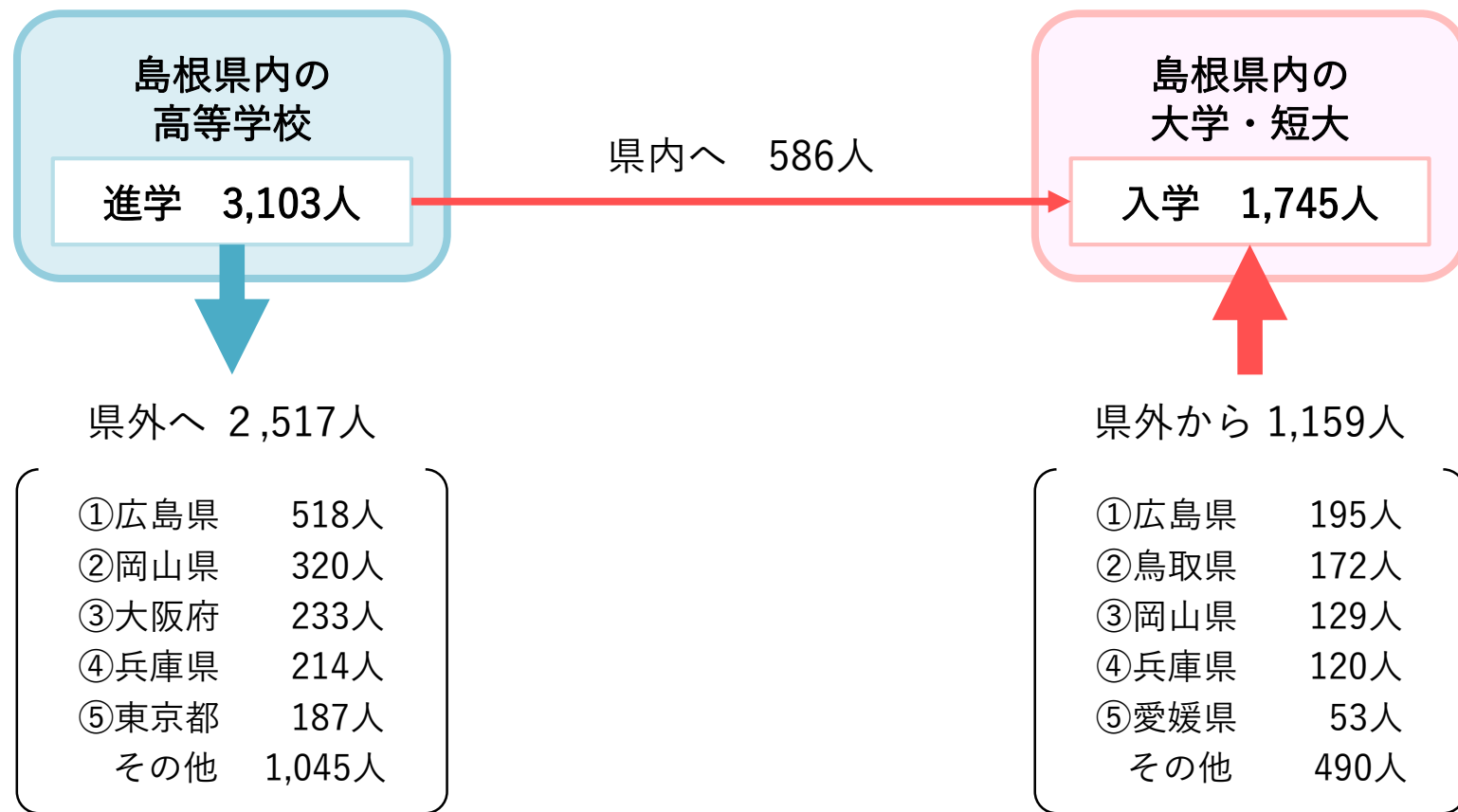
- 県内高校生の卒業者数は、H17年に比べ2千人減少し、概ね進学が7割、就職が2割で推移
- 就職については、7割が県内だが、これは全国平均の8割よりも低い



資料：学校基本調査（文部科学省）  
 (注) 各年3月の卒業者の状況

- 県内高校から大学等への進学者約3千人のうち、県内に留まるのは約600人
- 県内の受け皿は約2千人で、約1千人が不足している状況

大学等への入学状況（H28年度）

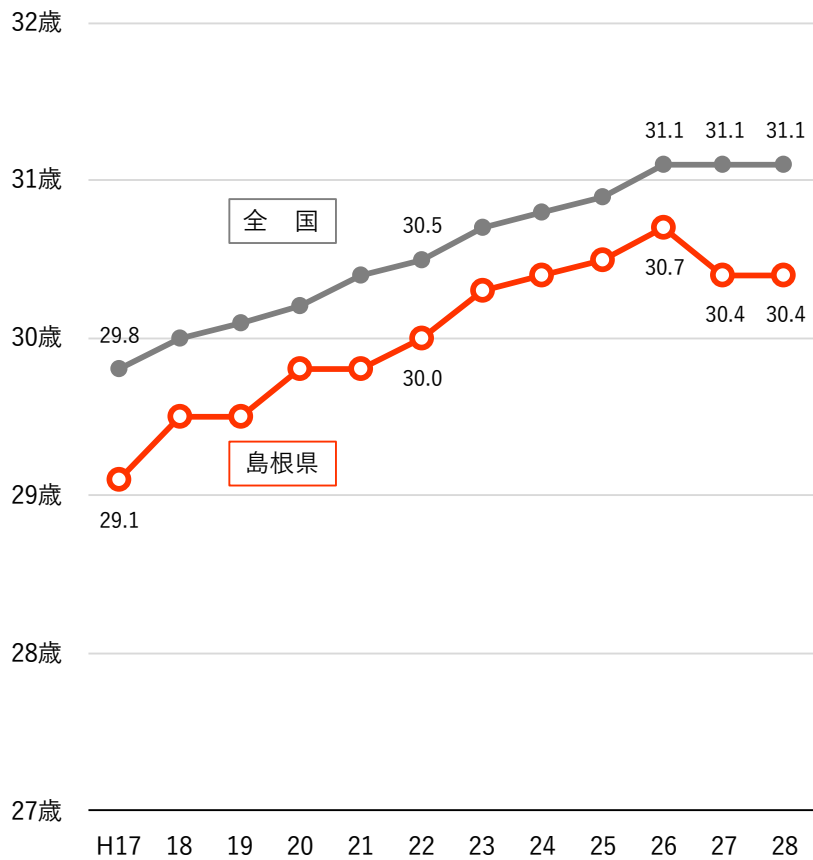


資料：学校基本調査（文部科学省）

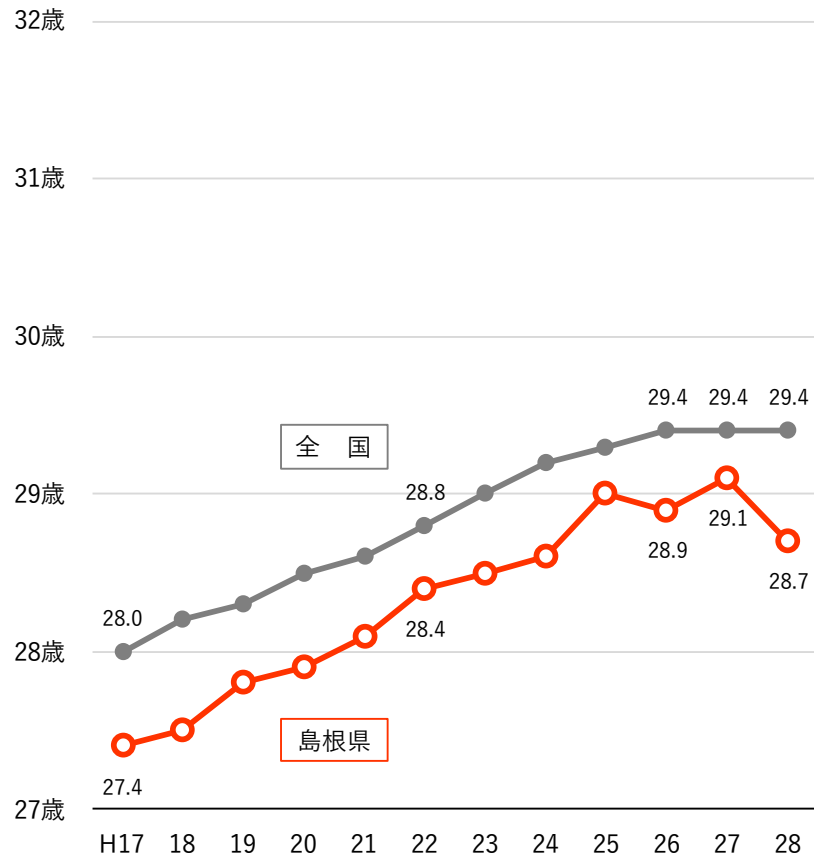
（注）大学、短期大学の計（H28年度入学者ベース）

- 全国と同様に平均初婚年齢の上昇が続いてきたが、近年は低下する傾向

平均初婚年齢の推移（男性）



平均初婚年齢の推移（女性）

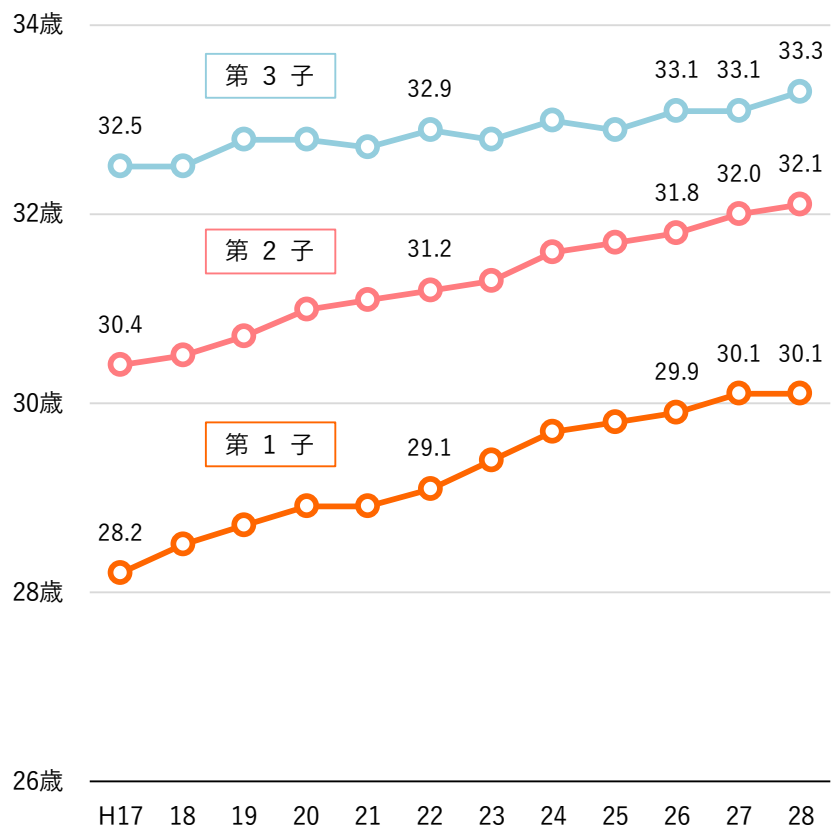


資料：人口動態統計（厚生労働省）〔暦年〕

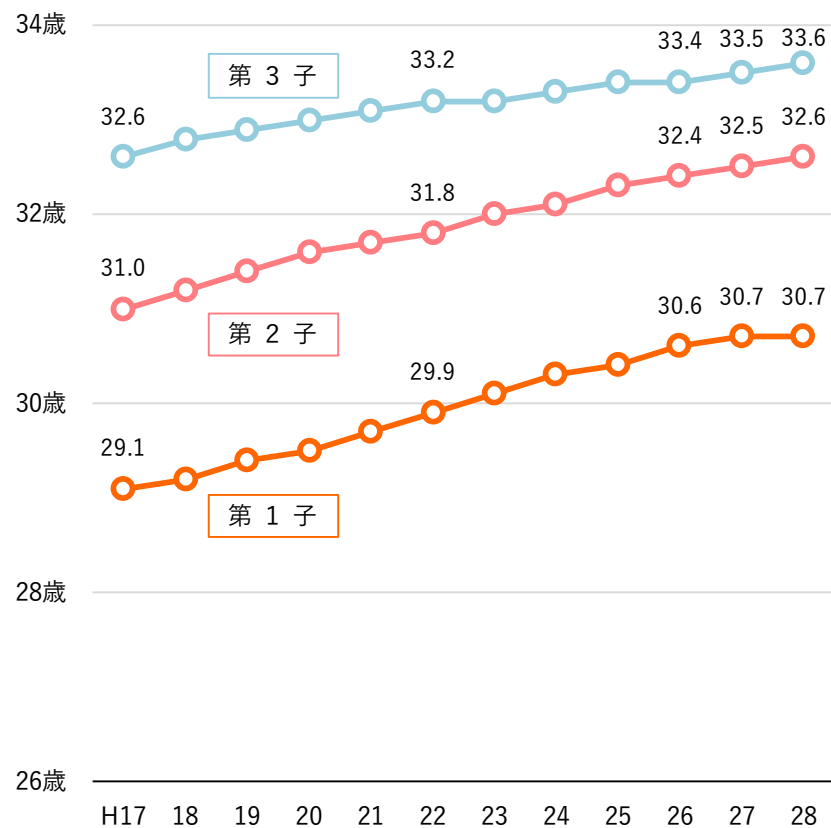


- 平均出産年齢は全国よりも若いですが、上昇傾向

島根県：平均出産年齢の推移



全国：平均出産年齢の推移



資料：人口動態統計（厚生労働省）〔暦年〕